

## CMC リサーチセミナー

### 「シェール革命の化学産業へのインパクト

#### ～ 変化する化学品ニーズと新しいビジネスモデルの可能性 ～

開催日時：2014年9月19日（金）10:30～16:55（昼休憩含） 開場 10:00

会場：中央大学駿河台記念館 3F 310 会議室（〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5）

参加費：37,800円（税込） ※ 資料代、弁当代 含

#### 1. 泉谷 渉 氏：シェール革命は世界経済にインパクト、新たな課題の克服が重要だ！

講師：(株)産業タイムズ社 代表取締役 社長 泉谷 渉  
10:30～12:00（質疑含）

- 1 シェールガス革命で米国の製造業が復活、世界の工場建設が米国に回帰
- 2 シェールガス革命は燃料電池車、水素エネルギー産業の加速を呼び込む
- 3 シェールガス革命で300兆円の航空産業、マーケットが誕生する
- 4 シェールガス革命でニッポンの素材力が一気に上昇し大活躍する
- 5 シェールガス革命でニッポンの造船、LNGの力がものをいう時代が来る
- 6 シェールガス革命=低コストという定説が崩れてきた～この問題の克服が重要
- 7 シェールオイルに軸足を移し始めた企業が続出している
- 8 シェールガス関連投資はさらに拡大、米国はエタン工場だけで2兆円を投資

#### 2. 室井 高城 氏：シェールガスの衝撃から日本の石油化学は生き残れるか！

講師：アイシーラボ代表

室井 高城 13:00～14:20（質疑含）

- 1 シェールガスにより復活した米国の化学産業
- 2 米国エチレン誘導体の世界的市場独占
- 3 ナフサクラッカーの衰退
- 4 世界的プロピレン、ブタジエン、ベンゼン不足
- 5 多様化する石油化学品原料
- 6 石油精製産業との再編成
- 7 石炭化学による中国の独自路線
- 8 既に工業化されたバイオマス原料化学品
- 9 日本の石油化学の生き残り対策

#### 3. 吉村 和就 氏：シェールガスの水問題 ～水資源から廃水処理まで～

講師：グローバルウォータ・ジャパン GWJ 代表

吉村 和就 14:30～15:50（質疑含）

- 1 世界の天然ガス資源と技術的回収量
- 2 天然ガスはエネルギー革命と化学革命をもたらす
- 3 なぜ米国は世界最大のガス産出国になったのか
- 4 水圧破砕法
  - 4.1 市場予測
  - 4.2 北米の水処理機器市場
  - 4.3 ペンシルベニア州の経済効果
  - 4.4 水圧破砕による環境破壊
- 5 水圧破砕廃液の処理
  - 5.1 米国各州における取水の条件
  - 5.2 廃液処理方法
  - 5.3 水圧破砕用薬剤（成分と組成）
  - 5.4 廃液処理メーカー（GE、ヴェオリア、エンカナ、他）
  - 5.5 先端処理技術の開発（無放流、蒸発、結晶化）
- 6 日本の出番はあるのか
  - 6.1 活躍中の日本企業
  - 6.2 活躍できる分野は？

#### 4. 吉田 優香 氏：シェールガス・オイル開発で使われる化学品および水関連市場の最新動向

講師：シーエムシーリサーチ 調査・コンサルタント

吉田優香 16:00～16:55（質疑含）

- 1 水処理を含むシェールガス・オイル周辺市場の定義と市場動向
  - 1.1 バリューチェーンと業界構造
  - 1.2 参入企業の例とケーススタディ
  - 1.3 市場規模、市場動向、今後の展望
- 2 石油・ガス開発用化学品（Oil Field Chemicals）の技術および市場の最新動向
  - 2.1 掘削用泥水、フラクチャリング流体、EOR用化学品などに使用される化学品の種類と技術動向
  - 2.2 フラクチャリング流体に用いられる主要な化学品の種類と需要量
- 3 日本企業が石油・ガス開発用化学品および水関連市場に参入する場合の課題